

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年07月03日

計画の名称	大規模盛土造成地の耐震化の推進（防災・安全）												
計画の期間	令和05年度～令和05年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	愛南町												
計画の目標	愛南町内の大規模盛土造成地について造成地の安全性確認調査を行い、結果を住民に周知することによって防災意識を高めるとともに、南海トラフ巨大地震に備えた対策工事に向けた準備を加速させることを目的とする。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	33	A	33	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 令和5年度	中間目標値	最終目標値 令和5年度
1	第二次スクリーニングの公表率（ホームページ掲載）を0%から100%へ増加させ、地域住民の関心を高める。 盛土の安全性をホームページへ掲載する。 安全性を公表した大規模盛土造成地数 / 第二次スクリーニングを実施した大規模盛土造成地数	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	愛南町	直接	愛南町	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査(愛南町)	大規模盛土造成地の変動予測 調査(第二次スクリーニング 3箇所)	愛南町						33	-	
												小計						33	
											合計						33		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 事業実施主体にて評価を実施	事後評価の実施時期 令和5年
	公表の方法 愛南町ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	愛南町内で令和5年度スクリーニング調査を行うことができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
地盤調査をした3箇所において『滑ろうとする力』より『抵抗力』が上回り、盛土の安全性が確保されていることが確認できました。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	第2次スクリーニングの公表率	
	最終 目標値	100%
	最終 実績値	100%